

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ新子安保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：森 さゆり	定員（利用人数）： 60名（60名）
所在地：〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-18-1ザ・パークハウス横浜新子安ガーデン内	
TEL：045-433-0500	
ホームページ：http://www.gkids.co.jp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員： 8名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 17名 栄養士 2名
	保育補助 3名 調理員 1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室 6
	（設備等）給食室 事務所 医務室 休憩室

③理念・基本方針

【企業理念】

子ども達の未来のために

【保育理念】

豊かに生きる力を育てる

【園の保育目標】

1. やりたいことを、思いきりできる
2. 人の気持ちを想像し、受け止めたり考えようとする

【園の保育方針】

1. 子どもの考えを主体とし、やりたい気持ちを大切に一緒に取り組む
2. 子どもと一緒に考え、子どもの意見を尊重し、楽しく面白い保育
3. 家庭との連携をしっかりと取り、子ども一人ひとりが安心感を感じる保育

④施設・事業所の特徴的な取組

保育目標として

- 1.やりたいことを、思いきりできる
- 2.人の気持ちを想像し、受け止めたり考えようとする

保育方針として

- 1.子どもの考えを主体とし、やりたい気持ちを大切に一緒に取り組む
- 2.子どもと一緒に考え、子どもの意見を尊重し楽しく面白い保育
- 3.家庭との連携をしっかりと取り、子ども一人ひとりが安心感を感じる保育

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年7月6日（契約日） ～ 令和3年4月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成29年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもの気持ちを大切にされた保育の実践

園の保育方針の中で「子どもの考えを主体としやりたい気持ちを大切に一緒に取り組む」「子どもと一緒に考え子どもの意見を尊重し楽しくておもしろい保育」を掲げて実践しています。他のクラスの製作活動を見た子どもの「描きたい!」という声に応じて、お絵かきの時間にするなど、遊びや活動の中で子どもたちのやりたい気持ちを尊重し、一緒に考えることで子どもたちが楽しく積極的に活動できるように配慮しています。「今はやりたくない」という気持ちを主張することも大切に考えています。子どもの気持ちに寄り添った対応をしており、子どもたちは友だちを励ましたり心配する気持ちを育んでいます。職員は、遊びや生活の様々な場面で、一人ひとりの子どもの気持ちを大切に、子どもたちが楽しく自発的に活動できる保育を展開しています。

2)食育活動の取組み

「年間食育計画書」を作成し「食」への関心を深める取組みを行っています。季節の行事に合わせて、七草粥や恵方巻等の伝統食の話をしたり、三色食品群などについて伝えています。大根やミニトマト等の苗植えや種まき、水やり、収穫を体験して、自然の恵みの大切さや感謝の気持ちを育てています。

3歳児以上はクッキングでスイートポテトやうどん作りなどを楽しんでいます。ハロウィンには子どもたちの希望でかぼちゃと餃子の皮でパイを作り、かぼちゃが苦手な子どももおいしく食べることができました。様々な食材に触れ、野菜の栽培やクッキング等を通して、子どもたちが食事を楽しむことができるように、保育士と調理担当が連携して食育活動に取り組んでいます。

3)チーム保育の実践

全体的な計画と事業計画の中で「チーム保育」を掲げ、「一人ひとりの子どもの発育発達を保育園に関わるすべての人で育む」としています。日々の情報伝達や保育の記録、ケースカンファレンスで、一人ひとりの子どもの生活や遊びの状況を全職員で共有しています。

職員は、子どもの姿に共感し自主性を尊重する保育を実践するために、チームとして日々の保育にあたっています。保育の振り返りや保育ニーズの把握が適切に行われているか

を話し合い、必要に応じて園長が助言や指導を行っています。送迎時には積極的に保護者の思いを聴き取り、意見や相談に関しては園長が中心になって対応し理解を得るよう努めています。

◇改善を求められる点

1) 地域子育て支援事業の取り組み

園では、地域との交流で把握した保育ニーズにもとづき、園庭開放や育児相談を実施していますが、利用実績はあまりない状況です。園の体制等を考慮したうえで、保育ニーズにもとづいた具体的な事業や活動を園の計画に明示し、園が有する専門的な情報・技術を地域に還元するための、さらなる取り組みが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園6年目を迎え2回目の第三者評価を受審した。

チーム保育をより充実させるため職員一丸となり保育目標、保育方針をたて子ども中心の保育に取り組んできた。

保護者の皆様からあたたかいお言葉やご意見を頂き真摯に受け止め今後も子どもたちの為により良い保育の実践に繋げていきたい。

又、評価を頂いた結果をどう反映させていくか、どのように取り組んでいくか、等保育園運営と保育者の専門性の向上に向けて更なる保育園づくりに努めていきたいと思う。この度はありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり